

芸術と社会：『原爆の図』の巡回史と 丸木美術館の実践活動

占領下の日本でいち早く原爆被害を伝えた丸木位里、丸木俊の共同制作「原爆の図」の国内外の巡回展の歴史を軸に、芸術と社会とのかかわりを現代的な視点で再考する。「原爆の図」の常設展示の場として画家夫妻がみずから1967年に開いた丸木美術館の今日における実践活動の事例も企画展を中心に紹介する。

日 時：2025年6月11日（水）
15：20～17：00

場 所：明治大学 和泉キャンパス
図書館ホール

講 師：岡村幸宣 氏

講師プロフィール：原爆の図丸木美術館学芸員・専務理事。東京都生まれ。社会と芸術表現の関わりについての研究、展覧会企画などを行っている。主な著書に『非核芸術案内』（岩波ブックレット、2013年）、『《原爆の図》全国巡回』（新宿書房、2015年）、『未来へー原爆の図丸木美術館学芸員日誌2011-2016』（新宿書房、2020年）、『丸木俊ー「原爆の図」を描き世界に伝える』（あかね書房、2023年）など。2016年第22回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。



★参加無料・申込不要★どなたでも参加可能です

コーディネーター：丸川 哲史
教養デザイン研究科長・政治経済学部教授